

2 各管内の状況

空知管内

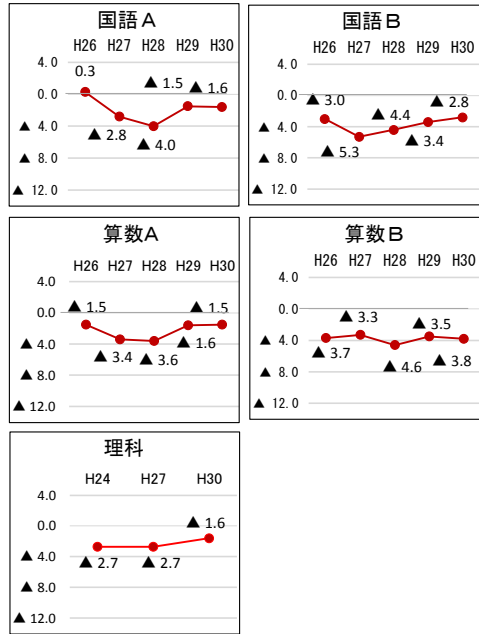
10市14町

■小学校の状況(学校数:63校、児童数:1957人)

【平均正答率】

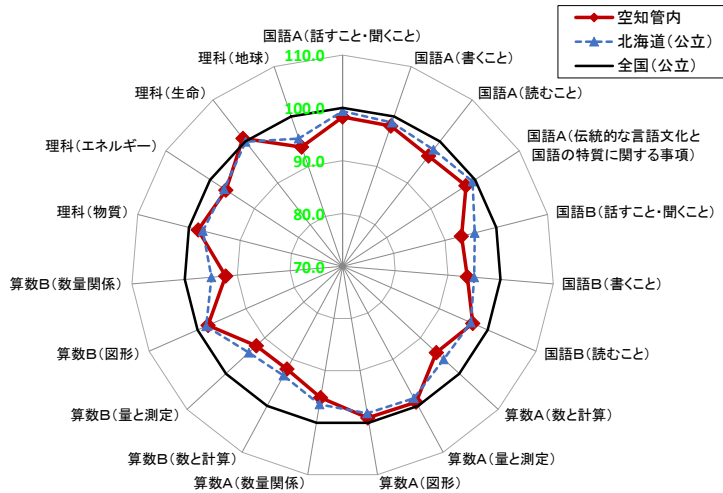
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
空知	69[69.1]	52[51.9]	62[62.0]	48[47.7]	59[58.7]
全国	71[70.7]	55[54.7]	64[63.5]	52[51.5]	60[60.3]

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)



【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものと(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

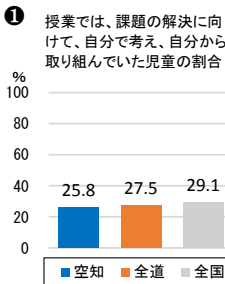


※「管内の平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の経年変化

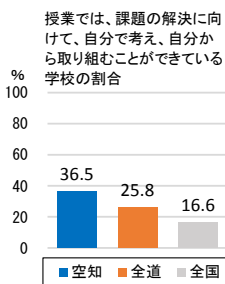
【質問紙の状況】

指導方法

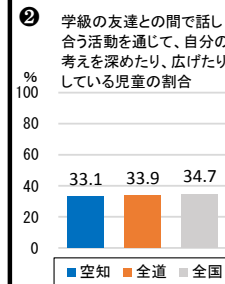
* 児童質問紙



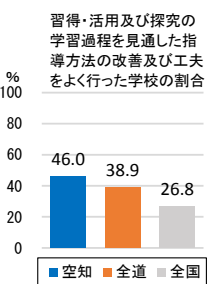
* 学校質問紙



* 児童質問紙

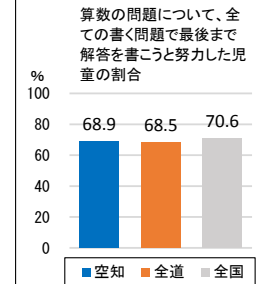


* 学校質問紙



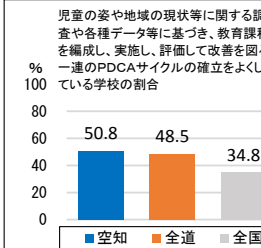
学習意欲

* 児童質問紙

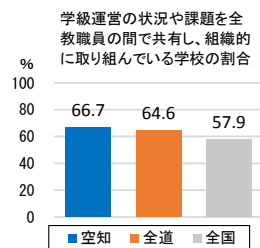


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

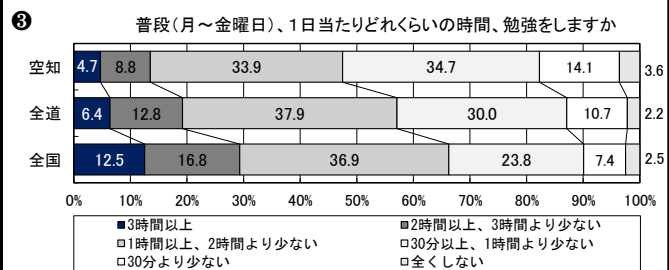


* 学校質問紙



学習習慣

* 児童質問紙



【分析及び改善の方向性】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と比較し、理科の「生命」で上回っている。 ○ 全国と比較し、国語A・B、算数A・Bの全ての領域で下回っている。特に、国語Bの「話すこと・聞くこと」、算数Bの「数量関係」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
質問紙	<p>① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童の割合は25.8%、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができる学校の割合は36.5%であり、10.7ポイントの差があることから、単元を見通して、見直しを立てたり、振り返ったりして、学びや変容を自覚できる場面などを設定する必要がある。</p> <p>② 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている児童の割合は33.1%、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った学校の割合は46.0%であり、12.9ポイントの差があることから、単元を見通して、対話によって自分の考えを広げたり深めたりする場面などを設定する必要がある。</p> <p>③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している児童の割合は47.4%であり、全国を下回っていることから、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図るとともに、家庭での学習方法について具体例を挙げながら教えるなど、家庭学習の習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。</p>

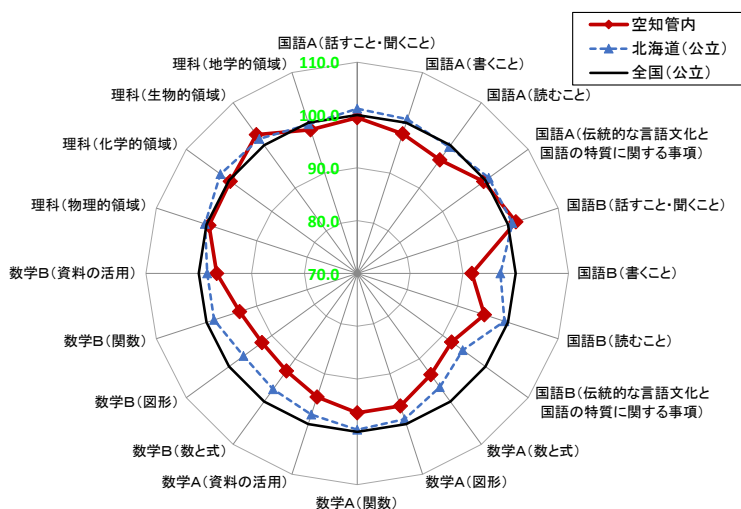
■ 中学校の状況 (学校数: 43校、生徒数: 2026人)

【平均正答率】

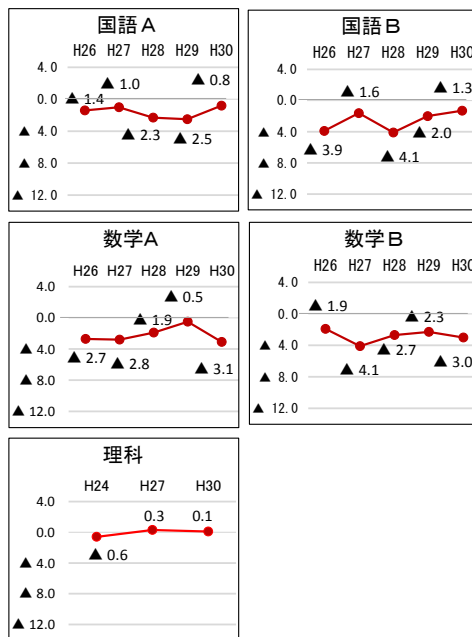
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
空知	75[75.3]	60[59.9]	63[63.0]	44[43.9]	66[66.2]
全国	76[76.1]	61[61.2]	66[66.1]	47[46.9]	66[66.1]

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものの(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

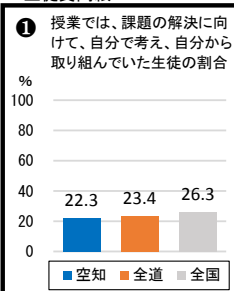


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

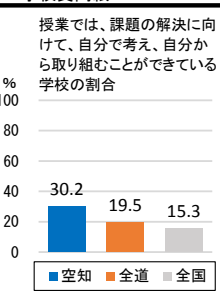
【質問紙の状況】

指導方法

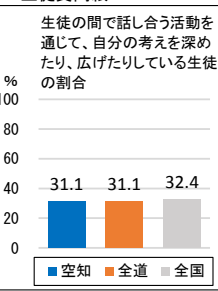
* 生徒質問紙



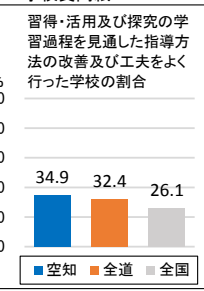
* 学校質問紙



* 生徒質問紙

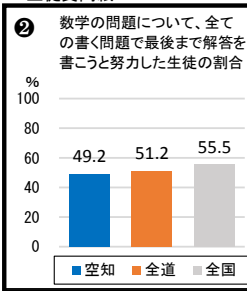


* 学校質問紙



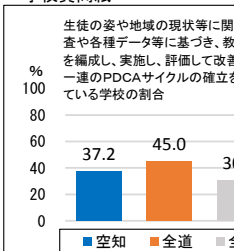
学習意欲

* 生徒質問紙

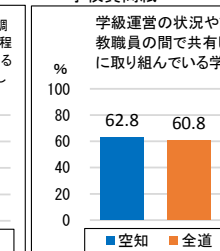


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

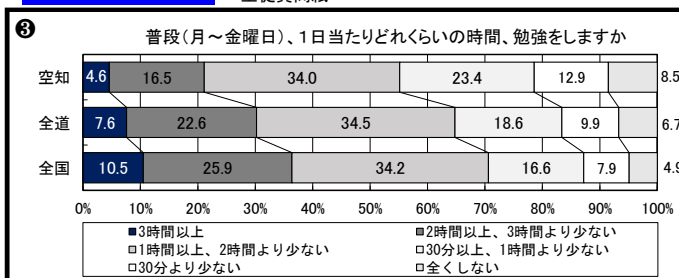


* 学校質問紙



学習習慣

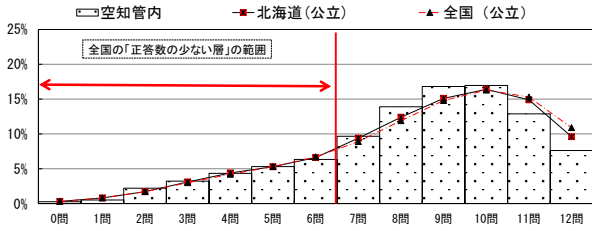
* 生徒質問紙



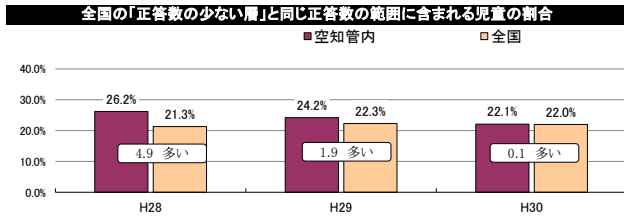
【分析及び改善の方向性】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と比較し、国語Bの「話すこと・聞くこと」、理科の「生物学的領域」で上回っている。 ○ 全国と比較し、数学A・Bの全ての領域で下回っている。特に、数学Aの「資料の活用」、Bの「数と式」「関数」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた生徒の割合は22.3%、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている学校の割合は30.2%であり、7.9ポイントの差があることから、単元を見通して、見直しを立てたり、振り返ったりして、学びや変容を自覚できる場面などを設定する必要がある。 ② 数学の問題について、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合は49.2%であり、全国を下回っていることから、学ぶことに興味や関心をもち、見直しをもって粘り強く取り組み、振り返って次につなげる主体的な学びを一層充実する必要がある。 ③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している生徒の割合は55.1%であり、全国を下回っていることから、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図るとともに、家庭での学習方法について具体例を挙げながら教えるなど、家庭学習の習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。

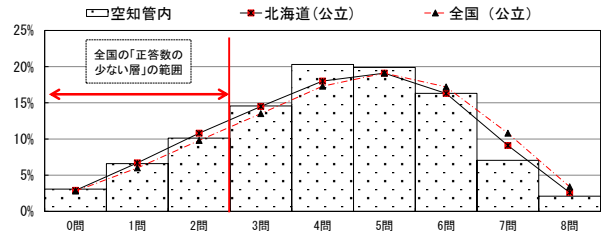
小学校国語A					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
空知管内	1,957	8.3 / 12	69.1	9.0	2.6
北海道(公立)	39,610	8.4 / 12	70.1	9.0	2.6
全国(公立)	1,030,025	8.5 / 12	70.7	9.0	2.7



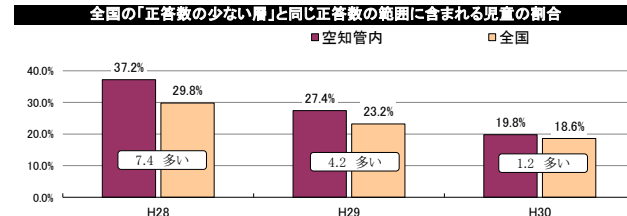
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



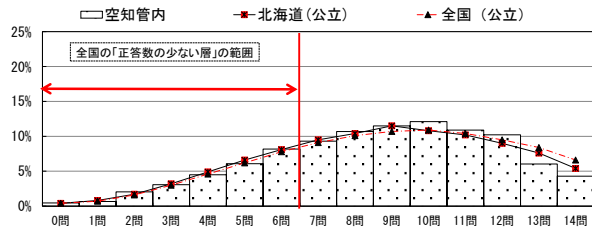
小学校国語B					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
空知管内	1,956	4.2 / 8	51.9	4.0	1.9
北海道(公立)	39,599	4.2 / 8	52.7	4.0	1.9
全国(公立)	1,029,799	4.4 / 8	54.7	5.0	1.9



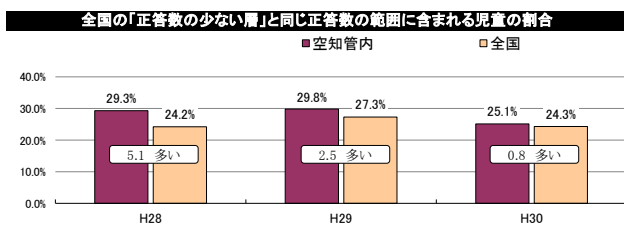
●全国の「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



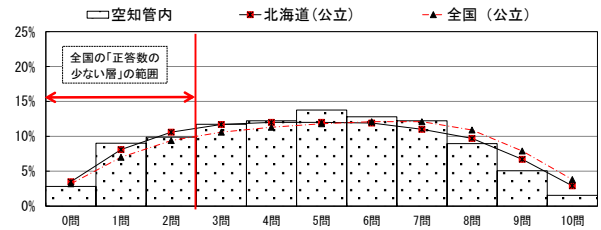
小学校算数A					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
空知管内	1,957	8.7 / 14	62.0	9.0	3.1
北海道(公立)	39,610	8.7 / 14	62.2	9.0	3.2
全国(公立)	1,030,013	8.9 / 14	63.5	9.0	3.2



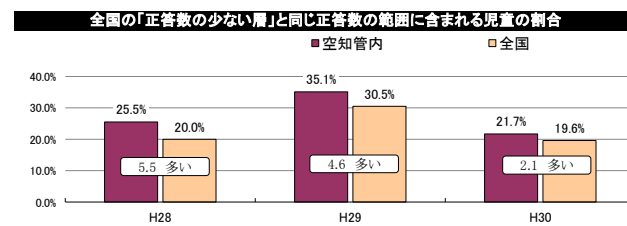
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



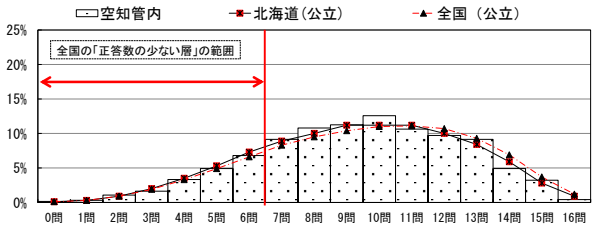
小学校算数B					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
空知管内	1,954	4.8 / 10	47.7	5.0	2.5
北海道(公立)	39,603	4.9 / 10	48.7	5.0	2.6
全国(公立)	1,029,847	5.1 / 10	51.5	5.0	2.7



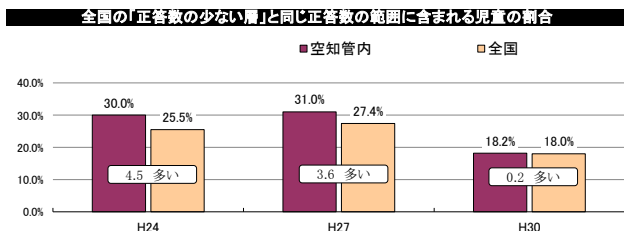
●全国の「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



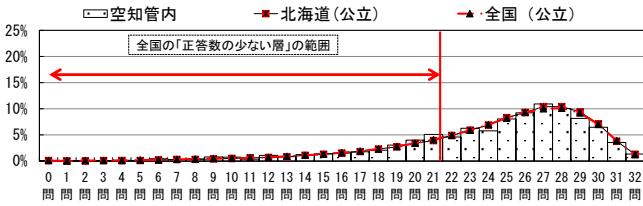
小学校理科					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
空知管内	1,956	9.4 / 16	58.7	10.0	3.1
北海道(公立)	39,617	9.4 / 16	58.8	10.0	3.1
全国(公立)	1,029,828	9.6 / 16	60.3	10.0	3.2



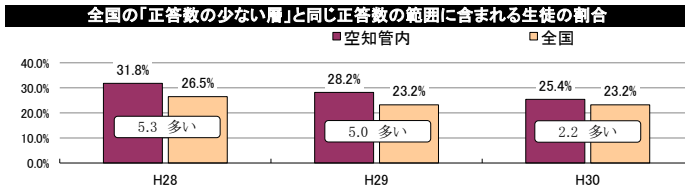
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



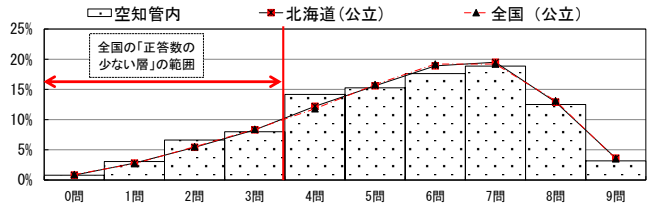
中学校国語A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
空知管内	2,026	24.1 / 32	75.3	25.0	5.4
北海道(公立)	39,656	24.5 / 32	76.6	26.0	5.1
全国(公立)	966,764	24.3 / 32	76.1	26.0	5.3



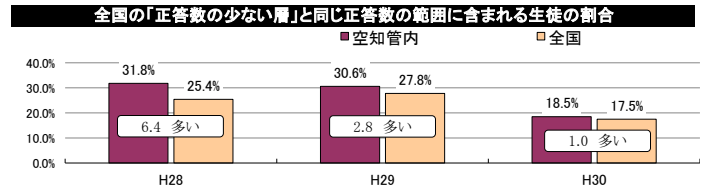
●全国の「正答数の少ない層」は、21問以下の正答数



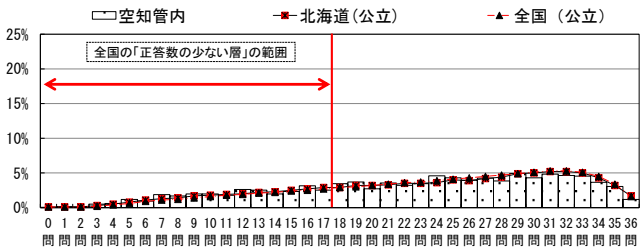
中学校国語B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
空知管内	2,026	5.4 / 9	59.9	6.0	2.0
北海道(公立)	39,654	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0
全国(公立)	966,786	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0



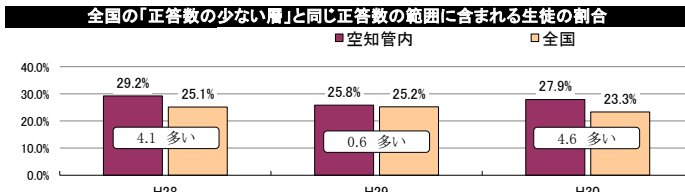
●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



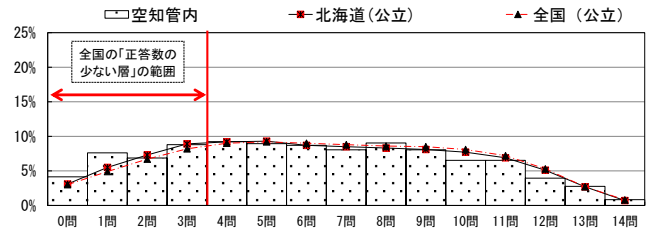
中学校数学A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
空知管内	2,027	22.7 / 36	63.0	24.0	8.5
北海道(公立)	39,665	23.4 / 36	64.9	25.0	8.3
全国(公立)	966,969	23.8 / 36	66.1	25.0	8.1



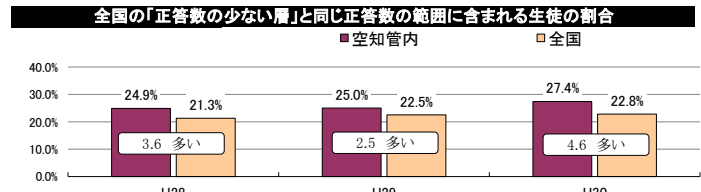
●全国の「正答数の少ない層」は、17問以下の正答数



中学校数学B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
空知管内	2,025	6.1 / 14	43.9	6.0	3.6
北海道(公立)	39,671	6.4 / 14	45.8	6.0	3.5
全国(公立)	966,908	6.6 / 14	46.9	7.0	3.5



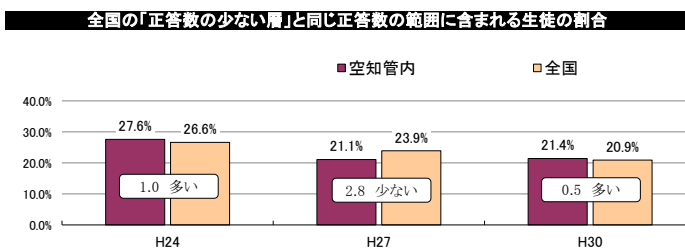
●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



中学校理科					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
空知管内	2,025	17.9 / 27	66.2	19.0	5.4
北海道(公立)	39,683	18.0 / 27	66.7	19.0	5.1
全国(公立)	967,188	17.9 / 27	66.1	19.0	5.2



●全国の「正答数の少ない層」は、13問以下の正答数



【参考】【平成27年度(小学校)】全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合

小学校国語A		小学校国語B	
空知管内	全国	空知管内	全国
35.1%	29.4%	32.7%	26.5%
全国との差 5.7多い		全国との差 6.2多い	
H30中3 : 2.2多い		H30中3 : 1.0多い	

小学校算数A		小学校算数B	
空知管内	全国	空知管内	全国
27.7%	21.7%	30.6%	25.2%
全国との差 6.0多い		全国との差 5.4多い	
H30中3 : 4.6多い		H30中3 : 4.6多い	

小学校理科	
空知管内	全国
31.0%	27.4%
全国との差 3.6多い	
H30中3 : 0.5多い	